

第8回 2023年 キーパー技術コンテスト開幕!!

2023年4月7日(金)、中央トレーニングセンター(KeepPer技研本社)にて、第8回2023年キーパー技術コンテストの予選がスタートしました。選手27名が集結し、2班に分かれて競技を行いました。競技種目はフレッシュキーパー。運転席側と助手席側に分かれ、半分ずつを施工します。車種サイズはSサイズとMサイズがあり、Sサイズは36分以上、Mサイズは38分以上で失格となります。170点満点、競技得点155点以上を獲得した選手が、県チャンピオン決定戦へ進出します。

爆ツヤ、洗車を丁寧に終えた後は、時間を測り、ガラスコーティング、エコプラスレジン、仕上げまでを競います。

選手たちの緊張と応援の皆さんの眼差しがトレーニングセンターに張り詰めた空気を生みます。競技終了後は笑顔を見せる選手、ちょっと悔しそうな表情を浮かべる選手などいましたが、皆さんの健闘はキーパーの技術と品質の向上に貢献することとなるに違いありません。結果は13名が県チャンピオン決定戦へ進出となりました。この東海地区の予選会を皮切りに全国合計146回の予選会が行われます。



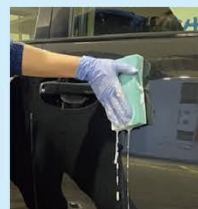
キーパー技術コンテストの出場は、まだまだ受付をしています。自分の技術力を向上させるべく、ぜひご出場ください。前号のキーパータイムズ、キーパープロショップ通信の申込用紙でお申し込みいただくか、営業担当までお知らせください!

全日本チャンピオンを2度獲得! 安藤祐子選手に聞く **フレッシュキーパー施工攻略法**

第8回2023年キーパー技術コンテスト予選が4月7日(金)よりスタートしました。予選の種目はフレッシュキーパー(1台を2名で施工)。昨年のコンテスト準決勝で競技得点169点を叩き出し、2度目の全日本チャンピオンを取得した(株)三ッ輪商會の安藤祐子選手にフレッシュキーパー施工のポイントを教えてくださいました。じっくり読んで予選通過を目指してください!

STEP1 爆ツヤ

隙間に溶剤を入れないことを、一番意識しています。特にスタート位置が一番リスクがあるので気を付けます。その上で塗り広げ時は、枠分をあまり残さないようにしています。隙間が空いてしまうと下処理が確実にできないので、空かないように最初の1手目から手首を返した状態で始めるようにしています。



2度の / (株)三ッ輪商會
全日本チャンピオン Dr.Drive南郷通店
安藤 祐子 選手

STEP2 ガラス被膜



爆ツヤのように「隙間に溶剤を入れない」という配慮はいらないので、端から端まで塗ることを徹底的に意識し、枠分は残さないようにしています。そうすることで体全体や大きな筋肉を自然と使うことができるので、疲れにくいです。もちろん、スポンジ

の幅も最大限使うようにしています。

枠や角を施工する時は、特に自分の右手を見るように心がけています。



STEP3 ECOレジン被膜



ボトルをスポンジに当てないように塗布しています。そうすることで1滴1滴しっかり出すことができます。そして、スポンジの端から端までまんべんなく塗布することでスポンジにケミカルが早く馴染んでくれます。

塗る時は、2分割の分け方を変えて施工しています。レジン2の時の上面(天井・ボンネット)は奥・手前の分け方でした。ECOレジンスポンジは馴染むのに数パネル分かかってしまうので、右・左で分けるようにしました。そうすると最初の塗り広げ時の横の動きが短くなり、縦の動きを長く稼げるので、手数も減り塗漏れもなく、馴染みも早くなります。力を入れて何手も何手も頑張らなくて良いので、無駄を省くことができました。

フレッシュキーパーは「1パネルずつ確認して仕上げる」のが必要なので、拭き上げ時は指先がパネルの端に来たら切り替えるように意識しています。仕上げた前のパネルへのはみ出しを最小限に抑えることができるので、また仕上げ直すといった無駄な時間を省くことができます。



STEP4 仕上げ確認

濃色車はチェックボードも使用しますので、チェックボードをカット(横に1/3カットサイズ)して持ち運びを楽にして確認しています。また、蓄圧式スプレーで挟んでいるので、施工中倒れることもなく片手で楽に移動できます。窓に隣

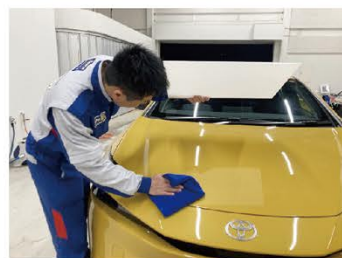
接しているパネルは窓の確認もありますので、キーパークロスも用意して窓もちゃんと確認をし、いつもの通りの仕上げ確認に入っていきます。



フレッシュキーパー施工におすすめ! 拭き残しがよく見える“半透明”のEXチェックボード

フレッシュキーパーは、クリスタルキーパーのレジン工程で使用するケミカルが「レジン2」から「ECOプラスレジン」にかわるだけです。ECOプラスレジンには、性能が高だけでなく、レジン2と比べて作業が軽く評判ですが、1つだけ注意すべき点があります。それは、拭き残したケミカルが時間が経つとクロスだけで拭き取れなくなるため、1パネル作業ごとに拭き残しをチェックして、仕上げることです。そこで、ドアパネルやフェンダー(側面)は、白いチェックボードを利用して拭き残しをチェックされる方もいます。

しかし、ボンネットやルーフ(上面)は、白いチェックボードを使っても、ボードの影で拭き残しが見えません。そこで役立つのが半透明のEXチェックボードです。半透明なので、光を適度に通して、曇り空の下のように拭き残しがよく見えます。片手で持てるジャストサイズで使い勝手抜群です。キーパーラボでも利用しています。ぜひ参考にしてください。



「EXチェックボード」

価格 @¥1,000(税抜)
ご注文単位 1枚(送料別)